

## 「主な取組」検証票

施策展開	5-(3)-イ	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進		
施策	②幼児児童生徒の基礎的な体力の向上及び健康・安全教育の推進			
(施策の小項目)	○健康教育の推進			
主な取組	歯科保健推進事業	実施計画 記載頁	391	
対応する 主な課題	○本県の児童生徒の体力・運動能力は緩やかに向上しているものの、相対的には全国平均を下回っていることや、子どもたちの欠食率が全国と比べて高い傾向にあるほか、高校生の交通事故件数が10年連続で300件を超えるなど、子どもたちの健康・安全面等において課題があることから、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う、健康・安全教育、運動・スポーツ活動等の充実を図る必要がある。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	80歳で自分の歯を20本以上保つという「8020運動」に関する普及啓発を行い、県民の歯科保健意識の向上を図ることにより、健康おきなわ21における歯の健康分野の目標達成を目指し、県民の生活の質を向上させることを目的とする。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
		保育所、幼稚園、小学校等へのフッ化物応用支援				→	県 市町村
担当部課	保健医療部 健康長寿課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
歯科保健推進事業	11,967	11,190	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県8020運動推進連携会議開催(平成29年2月)</li> <li>・フッ化物応用推進(保育所、幼稚園保護者向けフッ化物洗口説明会等)</li> <li>・歯周病予防対策(歯周病予防教室、研修会等)</li> <li>・口腔ケア推進(要介護高齢者施設等職員に対する口腔ケア研修会等)</li> <li>・全国歯科保健大会及び全国歯科保健推進研修会の開催</li> <li>・歯科疾患実態調査実施</li> </ul>	各省 計上
活動指標名			計画値	実績値
保育所、幼稚園へのフッ化物応用支援			—	保育所201カ所 幼稚園15カ所
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	フッ化物洗口を実施に向けた説明会を25回開催した。平成28年3月末時点で保育所では201施設、幼稚園では15施設でフッ化物洗口を実施している。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
歯科保健推進事業	7,478	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県8020運動推進連携会議の開催</li> <li>・フッ化物応用推進(フッ化物洗口説明会、支援等)</li> <li>・歯周病予防対策(歯周病予防教室、研修会等)</li> <li>・口腔ケア推進(要介護高齢者施設職員等に対する口腔ケア研修会等)</li> <li>・かかりつけ歯科医推進</li> </ul>	各省計上

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
①フッ化物応用については、未実施保育所への説明会等実施を強化し、フッ化物洗口実施保育所の増加を図る。幼稚園・小学校等については、フッ化物洗口実施導入について、教育庁や市町村教育委員会への情報提供や意見交換をしながら実施拡大可能な方法を検討する。	①各種関連会議の中で情報提供を行い、現状についての情報共有、今後の対応案について意見交換を行った。また未実施保育所等へ25回の説明会を実施した。教育委員会等を対象としたアンケート調査を実施し、幼稚園、学校現場に近い立場の意見を把握した。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
12歳児の平均むし歯数	2.3本 (25年)	2.2本 (26年)	2.1本 (27年)	↗	0.90本 (27年)
状況説明	80歳で20歯以上、自分の歯を有する人の割合は増加したものの、全国平均と比較し低い状況である。また、県内の12歳児一人平均むし歯数は全国平均と比較し、多い状況であるが、年々減少傾向にある。 「歯と口の健康週間」のイベント等で、むし歯、歯周病、口腔ケア等、歯科保健に関する普及啓発を行っており、歯周病についての認識も高まりつつある。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園や小学校でのフッ化物洗口実施を進めるには教育関係者の理解が必要だが、調整に時間を要し、実施施設の拡大に至っていない。</li> </ul> <p>○外部環境の変化</p>
---

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ化物洗口の実施拡大を図るため、教育庁、歯科医師会、市町村教育委員会、保健所と更に連携し、情報共有していく。</li> </ul>
--

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ化物応用については、未実施保育所への説明会等実施を強化し、フッ化物洗口実施保育所の増加を図る。幼稚園・小学校等については、フッ化物洗口実施導入について、教育庁や市町村教育委員会への情報提供や意見交換をしながら実施拡大可能な方法を検討する。</li> </ul>
--